

競技注意事項

1. 本大会は、2026 年度日本陸上競技連盟競技規則および大会要項によって行う。

2. アスリートビブス（ナンバーカード）

(1) 交付された大きさのままで明瞭に見えるよう、ユニフォームの上部につける。
(ただし、跳躍競技は、胸または背につけるだけでよい。)

(2) 男子 10000m は選手受付で配布する、特別ゼッケンをユニホーム上部につける。(1～35 白地、No紺色)

(3) トラック競技の競技者は、招集所で配布された腰ビブス（腰ナンバーカード）を右腰部につける。10000mは両腰部につける。

(4) 小学生招待リレーに参加する選手は、岐阜陸協登録アスリートビブスを使用すること。

3. 招集について

(1) 招集所は、100m スタート付近スタンド下に設ける。

(2) 招集の受付は本人が行い、時間に遅れたものは、棄権とみなして出場を認めない。

(3) 招集時間は、次の通りとする。招集後完了は各自スタート地点へ移動ください。

	招集開始時間	招集完了時刻
トラック競技	30 分前	20 分前
跳躍競技	50 分前	40 分前
投てき競技	50 分前	40 分前

(4) 他の種目に出場しているなど特別の事由がある場合、代理人による招集を認めるので競技者係主任（招集所）に事前に申し出ること。

(5) リレー競技のオーダーは、競技開始 60 分前までに招集所にオーダー用紙を 1 部提出する。（用紙はプログラムに添付。）

4. レーン・試技順について

トラック競技のレーン・フィールド競技の試技順は、プログラムの数字で示す。

5. 競技について

フィールド競技の練習は、招集後審判員の指示によって行う。

6. (1) 走高跳および棒高跳のバーの上げ方は、下記のとおりとする。（ただし、天候等により審判長の判断で変更することもある。）

	練習	1	2	3	4	5	6	
男子走高跳	1m70	1m75	1m80	1m85	1m90	1m95	2m00	以後 3 cm
女子走高跳	1m50	1m55	1m60	1m65				以後 3 cm
男子棒高跳	①3m80 ②5m20	3m80～4m60 まで 20cm 刻み						以後調整
女子棒高跳	①3m25 ②3m50 ③3m80	2m60	2m80	3m00	3m20	3m40	3m80	以後 10 cm

(2) 男女やり投の計測ラインは、男子やり投 47m、女子やり投 28m とする。

7. 競技用具（靴・衣類・器具）について

(1) シューズ(スパイク、ランニングシューズ含む)本大会は、WA 規則 TR 5 の改定ルールを適用する。

※詳細は日本陸連 HP 参照 <https://www.jaaf.or.jp/about/resist/technical/shoes/>

(2) 競技用スパイクについて、スパイクの数は 11 本以内で長さ 9mm、走高跳・やり投は、12mm 以下とする。

(3) 衣類の広告に関する規定については、日本陸連の「競技会における広告および展示物に関する規定」に従い、違反に対しては、主催者において処置する。表彰を受ける際もこれが適用される。

(4) 競技に使用する器具は、原則として主催者が用意したものを使用する。

(5) 投てき器具については、**招集完了 1 時間前までに** 100m フィニッシュ付近前の器具庫で検査に合格したものだけの使用を認める。ただし、競技場の器具と同様に使用する。

8. ウォーミングアップについて

(1) ウォーミングアップは、グラウンド横の練習補助競技場所を使用する。

(2) 投てき種目は練習ができないため、競技開始前に競技役員の指示により行う。

9. 表彰について

(1) 種目表彰は各種目決勝終了後、優勝者のみ実施する。優勝者は速やかに表彰控所に集合すること。

(2) 各種目 2 位、3 位入賞者は表彰受付にて賞状を受け取ること。

(3) 優秀競技者には、MV P 賞：全出場競技者より男女各 1 名（各 20 万円）、M I P 賞：中部連盟所属競技者より男女各 1 名（各 10 万円）、敢闘賞：中部連盟所属競技者より男女各 3 名（各 5 万円）を授与する。

10. その他

(1) 本年度は AD カードの運用は実施しない。（監督、コーチ、競技者、チーム関係者が撮影時は必須）

(2) エントリー後に棄権する場合は、プログラム巻末に添付の欠場届を事務局に提出すること。